



10/ 18
(水)

川床小学校で稲刈り体験

食の大切さを学んでほしい

10月18日、川床ホテルの里横の田んぼで、川床小学校（黒川周一校長・106人）3、4年生計43人が稲の刈り取り体験を行いました。

保護者や地域の大人の指導を受け、児童らは、約一畝の田んぼの稲を、刈り取り役と稲の束を結ぶ役とを交互に行い、それぞれ連携して笑顔で収穫作業を進めていました。

この田んぼは、原口秀昭さん（小坂）と栢元真二さん（川床下）が中心となり、小学生の稲作体験のために管理を行いました。

原口さんは「食の大切さを楽しみながら学んで

元気に稲刈りを行う児童ら



ほしい。体験を通して子どもとコミュニケーションを取るのが楽しみ」と話しました。

同校では、収穫した餅米で12月に餅つきを行う予定です。

10/ 20
(金)

町内学校でバイオリン教室

バイオリンを弾く楽しさ

10月19日と20日の2日間、町内の小中学校で学校巡回バイオリン体験教室が開催されました。これは、普段触れる機会の少ないバイオリンを体験し、児童・生徒が音楽の楽しさに触れ、学習意欲の向上を目的に毎年開催しています。

今回は、鷹巣、伊唐の2小学校、鷹巣、長島の2中学校で行われ、県内各地で開催している「バイオリンひまわりプロジェクト」の4人の講師が訪れました。

長島中学校（石垣健二校長・74人）では、2年生26人が参加し、演奏体験や生徒による合奏と講師によるミニコンサートが行われました。

講師の丁寧な指導で上達する生徒ら



同校の生徒、小田さゆりさんは「最初弦を弾いたときバイオリンの音が鳴り、とてもうれしい気持ちになりました。練習曲『カエルの歌』を練習中にだんだんと弾けるようになってバイオリンを弾く楽しさを感じました」と話しました。

10/ 25
(水)

おもてなし研修会

笑顔でおもてなし

10月25日、町総合開発センターで、笑下村塾しょうかそんじゅくのたかまつなさんとお笑いコンビの三拍子を講師に向え、おもてなし研修会を開催しました。これは他者との会話やコミュニケーションへの意識とスキルの向上を目的に実施され、町内の2団体64人が参加しました。

研修では、参加者が2人1組となり、30秒間の自己PRや漫才体験を通じて自分の殻を破り笑顔で人と接することを学びました。研修の最後は実際に漫才を披露しました。

川添町長は「これほど、参加者が笑顔で、笑い

漫才を披露した、川添町長(写真右)と長岡副町長(写真左)



に包まれた研修は初めて。学んだことを実践していきたい」とお礼の言葉を述べました。